

専門家によるモニタリングコメント・意見

【感染状況】

○厚生労働省の「新たな患者推計を踏まえた医療提供体制の再構築」によると、感染拡大防止のための社会への協力要請（自粛要請等）が必要であるとされている、患者数が人口十万人あたり2.5人/週（東京都で換算すると50人）を超えている。

また、協力要請が遅くなれば、その間に感染者が増加するため、経済等への影響も大きくなる（自粛等の期間の長期化）とともに、ピーク時に必要な病床数等の医療資源が増加するため、一般医療への負荷が高くなる。

ただし、この推計（「新たな患者推計を踏まえた医療提供体制の再構築」）は、第一波の感染動向を基に作成したものである。今回の数値は現在の検査体制による積極的なPCR検査など、さまざまな取組の影響が含まれているため、解釈には注意が必要である。

○一方で、新規陽性者数の増加は、接触歴等不明の新規陽性者数も増加していることから、積極的な検査数の増加によるものだけではない。

○第一波（3月から緊急事態宣言解除まで）では、患者の急速な増加の前に#7119の相談件数が増加した。

○#7119の相談件数が増加すると、流行の範囲が広がることが予想されるので、今後の推移に注意が必要である。

○7月1日時点の新規陽性者における接触歴等不明者の増加数は27.1人、増加比は158%であり、4週間継続すると接触歴等不明の新規陽性者が約6倍（160人/日）程度発生する。さらに4週間継続すると接触歴等不明の新規陽性者数は、現在の約40倍になる。